

市民の命を守る それが行政の使命

mayor's talk

Voice

石原茂雄市長に、東海地震へ向けた今後の対応を聞く。

**限られた予算でも
防災対策に
力を入れていく**

東日本大震災から、二カ月余りが経過しました。市では「御前崎市被災者支援対策本部」を立ち上げ、医師、看護師、保健師といった専門職や一般職員の派遣、支援物資を輸送するなど、総力を挙げて被災地の支援に当たっています。

未曾有の地震と津波、原子力発電所の事故を受け、市では各公共施設に海抜表示するなど、防災体制を見直しています。災害から、このまちに住む人の命や財産を守るのが私たちの使命。

福島第一原子力発電所事故の影響を受けた国からの発電所全号機停止要請で、電源立地地域対策交付金が減額される可能性があり、厳しい財政運営が迫られる中でも、災害に強いまちづくりに重きを置いて事業を進めていきます。

発電所の今後のあり方についても、市民の生命や暮らしの安心、安全を第一に考えて対応していきたいと考えています。

**命の灯火を
消さないために
防災対策を**

災害が発生した時、市は

**まちの防災体制を見直し
災害に強いまちにする**

全力で「公助」の体制を取ります。市民の皆さんの安心のためにも、職員動員訓練などを実施し、職員の防災力向上にも努めます。しかし、職員も生身の人間。大災害となれば、登庁できない可能性も十分にあり得ます。そういった時のために、個人や家庭、地域、職場で防災体制を整えてほしいのです。若い人たちには積極的に訓練へ参加していただき、災害時には力を発

揮していただきたいと思

ます。

行政は資機材支援や防災ヘアドバイスもしています。本年6月からは市民向け自動配信メールも導入します。ぜひ登録し、有効に活用していただきたいと思

市民のみなさんと手を携えて、災害に強いまちづくりに進めていきたいと考えています。まち全体で東海地震を乗り切る備えをしてい

